



4月1日から 子宮頸がん予防ワクチン(HPVワクチン)の 積極的勧奨が再開されました

子宮頸がん予防ワクチンは、平成25年4月1日から、法律に基づく定期接種として実施しているところですが、厚生労働省から「副反応の発生頻度がより明らかになり、適切な情報提供ができるまでの間、積極的な接種の勧奨を差し控える」との通知を受け、積極的な勧奨が差し控えられていました。

この度、国の調査会においてワクチンの安全性について特段の懸念が認められないことが確認され、積極的な勧奨が令和4年4月1日から再開されました。

子宮頸がんとは

子宮頸がんは子宮の入り口部分にできるがんです。子宮頸がんの原因のほとんどは、HPV（ヒトパピローマウイルス）の感染によるものです。子宮頸がんは乳がんに次いで多いがんで、年間約11,000人が罹患し、そのうち約2,900人が亡くなっています。

ワクチン接種について

【使用するワクチン】

HPVは100種類以上確認されており、そのうち約15種類は、がんとの関連が指摘されています。現在、HPVの感染に起因する疾患の予防ワクチンは右記の2種類です。

| ワクチンの種類 | 予防効果のあるHPVの種類 | 接種回数 |
|---------|---------------------------------|------|
| サーバリックス | 16型、18型（高リスク型） | 3回 |
| ガーダシル | 16型、18型（高リスク型） 6型、11型（低リスク型） | 3回 |

※高リスク型は子宮頸がんなど、低リスク型は尖圭コンジローマ等の原因となるものです。いずれかのワクチンを接種することにより、再感染や持続感染を予防して、がんになるリスクを低減することができます

【定期接種】（無料）

◆対象者

小学6年生から高校1年生相当年齢となる女性

◆接種期間

高校1年生相当年齢まで（標準的な接種期間は中学1年生の間）

※平成18・19年度生まれの方は、高校1年生相当年齢を超えても、令和7年3月31日まで接種できます。ただし、早い年齢で接種するほど子宮頸がんの予防効果が高いとされています。

【キャッチアップ接種】（無料）

積極的な勧奨の差し控えにより接種機会を逃した方についても、公平な接種機会を確保する観点から、改めて接種の機会を提供します。

◆対象者

平成9年度～平成17年度生まれの女性

◆接種期間

令和7年3月31日まで

【予防接種の予診票配付方法】

接種の対象者には、4月上旬にワクチン希望調査書をお送りしています。接種希望の方は、同封の返信用封筒にて健康管理課へ郵送または同課窓口にて母子健康手帳を持参の上申請してください。郵送で申請した方は後日、郵送にて予診票を配布します。窓口で申請した方は、窓口にて予診票を即日配付します。

通知が届いていない方は健康管理課までお問い合わせください。

ワクチンで防げないHPV感染もあります

20歳以上の方は定期的に子宮頸がん検診を受けましょう

問合せ 健康管理課（2階） ☎ (20) 1574 FAX (20) 1600